

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にし履修を行って下さい。
- ・とくに、プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それをはるかに上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- ・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたりベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

履修のしかた

- ・本プログラムは、博物館学芸員の資格取得を目的とする博物館学芸員課程とは別のプログラムです。混同しやすいので注意が必要です。
- ・「博物館概論」「博物館教育論」「生涯学習概論」は1年次からの履修が可能なので、早めの履修をお勧めします。
- ・2年次から履修できる「博物館経営論」「博物館情報・メディア論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」は、「博物館概論」が先修条件です。

他のプログラムとの関係

- ・博物館学とは、博物館やその隣接領域を対象とする学際的な学問分野です。博物館の運営に関してだけでなく、文化財や世界遺産、まちづくり、地域文化、サブカルチャーなど、幅広い領域を研究対象としています。そのため、多くの学問分野と密接に関わりながら横断的に学んでいきます。
- ・博物館学の隣接領域として、地域デザイン、社会学、環境学などのプログラムは、とくに関連が深いといえます。
- ・博物館の利用者や展示のことを研究する上では、教育学や科学コミュニケーション、心理学などの知識も応用ができるので、マイナー程度の知識を有すると有利です。

留学・教職その他

- ・留学を希望する学生については、そのチャンスを活かして、海外の博物館を一つでも多く見学することをお勧めします。
- ・近年、博物館と学校教育との連携(博学連携)が盛んになっているため、教職を目指す学生にもぜひ学んでほしいプログラムです。
- ・博物館学芸員資格取得を目指す学生は、LA専門科目に入っていない「博物館実習」が必修となるため、十分な履修計画を立てて臨んで下さい。

学生へのメッセージ

- ・本プログラムは、実務的な博物館学芸員を目指すコースとは切り離し、博物館を学問的に追求することを目的として設定された、国内でも数少ないコースです。
- ・「もの」を見る視点を習得することによって、博物館的な「もの」の見方や考え方を身につけることができます。
- ・博物館学芸員課程と重なる部分が多いため、学芸員の資格を生かして、将来、博物館や文化財にかかわる職業に就く場合に有利です。まちづくりや地域づくり、観光などにかかわるような仕事も、まさに博物館学で培われた知識や経験が活かされる分野です。

博物館学プログラム

1 博物館学芸員を目指す人のための履修モデル

本プログラムは、博物館学芸員課程とは別のプログラムですが、内容的には密接に関係しています。
この履修モデルは、博物館学芸員課程を履修し、将来、学芸員として働くことを目指す学生を対象としたモデルです。学芸員の実務や博物館の業務をより深く掘り下げて学ぶことができます。

博物館学プログラム科目

level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導 入	◎	博物館概論	2	○	生涯学習概論	2						
理 論 ・ 方 法				○	博物館教育論	2	○	博物館資料保存論	2			
				○	博物館経営論	2	○	博物館展示論	2			
				○	博物館情報・メディア論	2		文化遺産論	2			
				○	博物館資料論	2		文化政策論	2			
発 展 ・ 応 用		地域デザイン概論	2		観光人類学	2		環境社会学A	2			
	○	人文地理学	2		地域観光論	2		情報メディアの活用	2			
		生涯発達心理学	2	○	文化地理学	2		公共経済学	2			
		多文化共生とやさしい日本語	2		文化社会学A	2		地方財政論	2			
					文化社会学B	2		環境教育論	2			
					日本教育史	2						
					環境とまちづくり	2						
					情報デザイン論	2						
ト ピ ッ ク ス		科学・技術・社会A	2		美学・芸術論	2	○	日本民俗学	2			
		科学・技術・社会B	2	○	コミュニティ・アート	2	○	日本考古学	2			
					人と自然	2		社会環境調査法	2			
					日本芸術論	2		生活環境調査法	2			
					科学技術コミュニケーション論A	2		自然環境調査法	2			
					科学技術コミュニケーション論B	2						

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

博物館学プログラム

2 「博学連携」や博物館教育を考えるための履修モデル

「博学連携」とは、博物館と学校教育がそれぞれの機能を活かしながら相互に連携することです。博物館と学校教育が連携することにより、学校における学習内容と博物館の実物資料との関連性を持たせることができるとともに、学習効果が高められると期待されています。この履修モデルは、こうした博物館の教育機能を理論的・実践的に追求することを目的としています。また、教職を目指す学生にとっても有意義な学びの機会となるでしょう。

博物館学プログラム科目

Level	100			200			300			400		
カテゴリ	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導 入	◎	博物館概論	2	○	生涯学習概論	2						
理 論 ・ 方 法				○	博物館教育論	2		博物館資料保存論	2			
				○	博物館経営論	2	○	博物館展示論	2			
				○	博物館情報・メディア論	2		文化遺産論	2			
				○	博物館資料論	2		文化政策論	2			
発 展 ・ 応 用	○	地域デザイン概論	2		観光人類学	2		環境社会学A	2			
		人文地理学	2		地域観光論	2	○	情報メディアの活用	2			
	○	生涯発達心理学	2		文化地理学	2		公共経済学	2			
	○	多文化共生とやさしい日本語	2		文化社会学A	2		地方財政論	2			
					文化社会学B	2	○	環境教育論	2			
				○	日本教育史	2						
					環境とまちづくり	2						
					情報デザイン論	2						
ト ピ ッ ク ス		科学・技術・社会A	2		美学・芸術論	2		日本民俗学	2			
		科学・技術・社会B	2		コミュニティ・アート	2		日本考古学	2			
					人と自然	2		社会環境調査法	2			
					日本芸術論	2		生活環境調査法	2			
					科学技術コミュニケーション論A	2		自然環境調査法	2			
					科学技術コミュニケーション論B	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

博物館学プログラム

3 博物館資料に興味がある人のための履修モデル

博物館の基本は「資料(モノ)」です。資料がなければ博物館は成立しません。資料がベースとなってすべての博物館活動が組み立てられています。この履修モデルでは、「資料」に焦点を当て、さまざまな角度から各専門分野における資料の基礎知識を習得するとともに、資料に立脚した博物館活動の可能性について考えることを目指しています。

博物館学プログラム科目

level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導 入	◎	博物館概論	2		生涯学習概論	2						
理 論 ・ 方 法					博物館教育論	2	○	博物館資料保存論	2			
				○	博物館経営論	2	○	博物館展示論	2			
				○	博物館情報・メディア論	2	○	文化遺産論	2			
				○	博物館資料論	2	○	文化政策論	2			
発 展 ・ 応 用	○	地域デザイン概論	2		観光人類学	2		環境社会学A	2			
	○	人文地理学	2		地域観光論	2		情報メディアの活用	2			
		生涯発達心理学	2	○	文化地理学	2		公共経済学	2			
		多文化共生とやさしい日本語	2		文化社会学A	2		地方財政論	2			
					文化社会学B	2		環境教育論	2			
					日本教育史	2						
					環境とまちづくり	2						
					情報デザイン論	2						
ト ピ ッ ク ス		科学・技術・社会A	2		美学・芸術論	2	○	日本民俗学	2			
		科学・技術・社会B	2	○	コミュニティ・アート	2	○	日本考古学	2			
					人と自然	2		社会環境調査法	2			
				○	日本芸術論	2		生活環境調査法	2			
					科学技術コミュニケーション論A	2		自然環境調査法	2			
					科学技術コミュニケーション論B	2						

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

博物館学プログラム

4 博物館活動を通じた地域づくり・まちづくりに興味がある人のための履修モデル

博物館活動は、多くの場合、地域社会を舞台に展開されます。地域に関する資料を収集、地域のことを多角的に調査・研究し、地域の人々に向けて展示・公開をします。

この履修モデルでは、地域社会を拠点にどのような博物館活動が展開できるのか、その可能性を考えます。

博物館学プログラム科目

level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導 入	◎	博物館概論	2		生涯学習概論	2						
理 論 ・ 方 法					博物館教育論	2		博物館資料保存論	2			
					博物館経営論	2		博物館展示論	2			
					博物館情報・メディア論	2	○	文化遺産論	2			
					博物館資料論	2	○	文化政策論	2			
発 展 ・ 応 用	○	地域デザイン概論	2	○	観光人類学	2	○	環境社会学A	2			
		人文地理学	2	○	地域観光論	2	○	情報メディアの活用	2			
		生涯発達心理学	2		文化地理学	2	○	公共経済学	2			
		多文化共生とやさしい日本語	2		文化社会学A	2	○	地方財政論	2			
					文化社会学B	2	○	環境教育論	2			
					日本教育史	2						
					○ 環境とまちづくり	2						
					○ 情報デザイン論	2						
ト ピ ッ ク ス		科学・技術・社会A	2		美学・芸術論	2		日本民俗学	2			
		科学・技術・社会B	2	○	コミュニティ・アート	2		日本考古学	2			
					人と自然	2	○	社会環境調査法	2			
					日本芸術論	2	○	生活環境調査法	2			
					科学技術コミュニケーション論A	2	○	自然環境調査法	2			
					科学技術コミュニケーション論B	2						

その他の推奨科目 ※[]内は単位数